

1 主題名 「自分で考えて判断し、責任をもつ」 【A－（１） 自主、自律、自由と責任】

2 教材名 「許せないよね」（出典 「きみがいちばんひかるとき ２年」 光村図書）

3 主題設定の理由

（１）ねらいとする道徳的価値（内容項目）について

内容項目 A（１）は、「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」をねらいとしている。

中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる一方で、周囲を気にして他者の言動に左右されてしまうことも少なくない。社会で望まれる規範意識は理解していても、周囲に合わせたり、流されたり、責任を他人に転嫁したりしてしまう姿も見られる。また、自分自身の行為が自分や他者にどのような結果をもたらすかということを深く考えずに行動してしまうこともある。自分の考えで判断し、常に自分の行動に責任をもって、誠実に生きようとする態度を育てたいと思い、本主題を設定した。

この内容項目は、インターネットやスマートフォンなど、情報との向き合い方とも関係が深い。自他に対して誠実な行動が取れるよう、不確かな情報に惑わされず、信頼できる情報を選んで主体的に判断できる力も育てていきたい。

（２）生徒の実態と教師の願い

事前アンケート	実施日	令和４年	５月１９日	実施人数	２７名
・自分専用のスマートフォンを持っているか はい ２５人 いいえ ２人				・自分で考え判断できるか はい １６人 いいえ １１人	
・SNS で嫌な気持ちになったことがあるか はい ４人 いいえ ２３人 メールの内容、知らない人からの DM、コメントに批判				・「責任」のイメージは何か 重い、任されたことをやり遂げる、難しい 誰のせいにもできないもの、守るもの	
・SNS で気を付けていることは何か。 悪口を書かない 文章を読み直す 相手の気持ちになる 投稿しない 相手の得意なことや好きなことを尊重する				・無責任な行動とはどんな行動だと思うか 人のせいにする、相手に押し付ける 自分勝手、みんなで決めたルールを守らない	

本学級の生徒はスマートフォンを使用する際、相手の立場に立った使い方を意識している。しかし相手の行為で不快になったケースも見受けられた。また、「自分で正しい判断ができる」かの問いには「あまり思わない」生徒が 11 人もおり、自分で考え、判断することに自信を持っていない生徒が多くいることがわかった。日常生活では、係活動や当番活動で、周りの事を考えずに無責任になってしまう場面も見られる。このような実態から、「自分で考えて判断し、自分の行動に責任をもつとはどういうことなのか」について深く考える必要があると考える。

（３）教材について

本教材は、主人公の「私」（香織）の友達である、千佳のお気に入りのボールペンがなくなったことを巡り、インターネット上の交流サイトの書き込みを見て、ついそれに同調し、メールをしてしまったことが大きなトラブルへと発展してしまう物語である。「私」だけでなく、沙弥や千佳の無責任な言動にも気付かせ、自分で考えて判断し、自分の言動に責任をもとうとする態度を育てたい。

（４）指導について

本時のねらいとする道徳的価値を達成するためには、登場人物の無責任な言動がトラブルを大きくさせてしまったことに気付かせ、正しい判断と責任ある言動について議論する必要があると考える。導入では、スマートフォンの使い方に関するアンケート結果や、最近のネットトラブルについて共有し、今回の資料を身近に感じられるようにする。展開部分では、「私」がつい返信してしまった行為について深く考えさせ、自分にも起こり得ることとして捉えさせたい。最後にグループで意見を交流させ、責任のある言動についての考えを深められるようにしていく。

4 本時の学習

(1) 目標

無責任な言動から窮地に立たされ、どうしたらよいのかわからなくなってしまった主人公の姿から、自分の考えで判断し、常に自分の行動に責任をもって誠実に生きようとする態度を養う。

(2) 準備・資料

アンケートの結果、ネットトラブルの資料、道徳ノート、挿絵、プロジェクター、PC

(3) 展開

※「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための手立て・工夫

主な活動と○発問◎中心発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点・評価
1 アンケート結果と SNS トラブルの資料を見て話し合う。 2 学習課題を知る。 自分で判断し責任をもつとは、どういうことだろう。 3 資料を読んで話し合う。 ○なぜ「私」は「そうよね。許せないよね。」と返信してしまったのだろうか。 ◎「どうしたらよいのか、わからなくなっていた」「私」は、この後、どんなことを考えただろう。 - 自分の考えをグループで伝え合い、共有する。 「私」が千佳に返答する場面の役割演技をする。 ○責任ある行動とは、どういうことだろう。 - 自分の考えをグループで伝え合い、共有する。 4 本時の振り返りをする。 - 道徳ノートに、深く考えたことや、新たな気付きなどを記入する。	- マナーを意識して SNS を利用している。 - SNS トラブルは増えていて怖い。 - SNS の書き込みを見て、つい同調してしまった。 - 千佳に嫌われたくない。 - 早く返信しなくちゃ。 - 人に流されないで、自分の考えをきちんと伝えればよかった。 - 考えずに返信してしまったことを謝って、みんなが仲直りできるようにしたい。 - これから、不確かな情報は、確かめるようにしよう。 - 何も確かめないで「許せないよね」って返信してごめん。 - 沙弥が盗んだとは思ってないよ。 - 人に流されないで判断すること。 - 起きてしまったことを人のせいにならずに、自分で責任をとること。 - 自分で決めて、何でもしっかりと切り切ること。 - 不確かな情報に惑わされない。	- アンケートの結果から、級友の SNS マナーにも着目できるようにする。 - SNS トラブルの資料から、トラブルは増加し続けていることに気付けるようにする。 - 半信半疑であったのに、みんなや千佳に同調してしまった「私」の揺らぐ気持ちを押さえる。 ※「私」に自分を重ね、つい「ゆるせないよね。」と返信してしまったことと、今起きている状況について深く考えるよう指示する。 - 役を演じた生徒に、どんな気持ちかを聞き、複雑な心境を共有する。 - こうならないためにどうすればよかったかについて触れる。 自分で判断し、責任をもつとはどういうことか考えている。(ノート、発表) - 新たな気付きになった意見をノートの右側に書き、自分と級友との意見を区別できるようにする。 - 発表の際は、学級全体の思考が深まるようにする。 - 書く時間を確保し、自己を見つめることができるようにする。